

石彫りの仕事場にて

白井澄江

あたりは緑の包囲

川の音ばかり

彫る音がしない今

ほっばらかして先に行っちゃうなんて

何で？ どうして？

それって余りにもひどいじゃあないの

置いていかれた切なさを隠し持っている

万面に涙の種をまかれてしまい

仕事場を黙って歩いて行く

荒彫り途中のまんまの童らが

さわいで見ている空模様



見上げる格好でざわめいている
わたしらや

ぼくっちを

おいてけぼりにしちゃってさあ

彫りの主を探し求めて

泣きわめき待ちぼうけをくっている

荒彫り始めたばかりと言うのに

一体 どこへ出掛けっぱなしだよあ

やだよ わたしだって彫りかけじゃんよう

ほっぽらかされちゃったじゃん

ちゃんとしたいい彫りにしてよう

おだやかに笑む顔にしてほしいよう

中途半端のまま台座し

ざわざわとさわいでいるばかり

この彫りかけじゃあなあ ほんといやだよう

みっともない風貌だでなあ

やだよう どうしようもないやあ

愚知と願いがひくくるめになって

そこらじゅうを掛けめぐっている

ガヤガヤガヤヤ

おい これからどうやって

おれらを座像にしてくれるだやあ
こんなりじゃあなあ座像作品に仕上げられず
に困っちゃうよ

彼女が来てくれたってさあ

この顔じゃあ

まともじゃあ合えないしなあ

どうすりゃあいいだやあ

てんで勝手に

しゃべくり合っている

荒彫りの童たちには

誕生する前の容姿が

埋もれ隠されている

ここは彫師の消えたやるせなさを
吐き続けている場所のようだ

だからさあ あなた

そっちで一段落したらさ

またこの仕事場へ

帰ってきてほしいやあ

残された仕事が残っている



ぜったいにだよ
そうしたら
また一緒に歩こう